

室原会だより

Vol. 85

初夏号

平成28年7月

ふれあい

(題字 室原亥十二)

「いのち」室原会長

電子カルテを導入しました

Doctor's File

呼吸器内科 坂本安見子先生

「日本糖尿病学会年次学術集会」に参加して

Working Woman

「きくなん活き活き健康教室」開催

サイクリング紀行/スポーツと私

うりほう・グループホームきくなん便り

...and more

室原内科・小児科

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目11番9号
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

菊南病院

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目1番53号
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

水前寺高齢者複合施設

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目3番15号
Tel 096-364-1210 Fax 096-364-1221

グループホームきくなん

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目11番15号
Tel 096-345-2260 Fax 096-345-2261

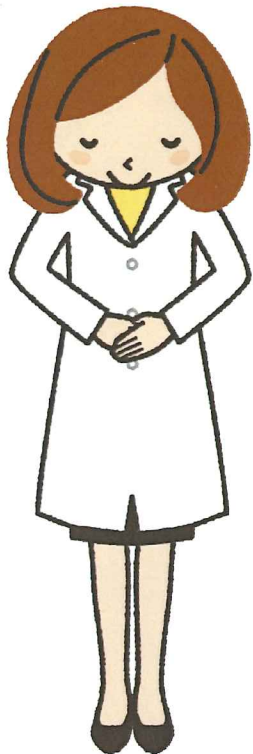
(医) 室原会 菊南病院 診療部 呼吸器内科 (非常勤)

坂本 安見子 先生



今年の4月から非常勤でお世話になっております、呼吸器内科の坂本と申します。

趣味はいろいろな国に行つて、特に旅行が好きです。いろんな国に行つて、自分の知らなかった世界に触れるのはとても楽しいです。若いころはヨーロッパが好きでしたが、最近ではアジア、特にインドやネパールに惹かれます。ヒマラヤ山脈に抱かれた小さな国、ネパールはアジア最貧国とも言われていますが、明るくて暖かい人が多いように思います。トレッキングは疲労以上の満足と達成感があり、絶景に魅せられます。なかなか行く機会がないのが残念です。



家でダラダラするのが好きだったはずなのに、ここ1年くらいなぜかジョギングします。今年の熊本城マラソンでフルマラソン完走しました！そしてさらに最近、テニス始めてみました。あとは運動といえば小学校のころからやっていた水泳は続けています。脂肪が付きやすく取れにくい年齢になってきたので、できるだけ体は動かしたいと思っています。そして、こう見えて実は料理とかお菓子作りが好きだったりします。運動で消費したカロリをパウンドケーキで補うという、無駄なことをしています。主に焼き菓子専門です。仕事のこととは全く関係ないことを書き連ねてしまいました。書き出してみると、一貫性がなくてつかみどころのない感じですが、大抵のことはなんでも好きなのかもしれません。今後ともどうぞよろしくお願います。

新入職員紹介 H28.4.1~

安江 綾子 外来 看護師
江口 恵美 一般病棟 看護師
今村 知美 一般病棟 看護師
田中 真緒 一般病棟 ケアワーカー
坂元 麻美 三病棟 看護師

古川 睦美 二病棟 看護師
宮崎 由紀子 二病棟 ケアワーカー
村崎 芳子 外来 看護師
岩崎 愛 リハビリテーション
佐藤 亜里沙 地域連携室 社会福祉士

問端 圭 事務部医事課 課長
相浦 勇太 事務部総務課 臨床工学技士
佐藤 めぐみ 事務部医事課
尾田 君香 「いとし」 ホームヘルパー
安永 和代 「いとし」 ホームヘルパー

今村 のぞみ 「鈴の音」 介護福祉士
門田 恵美 「鈴の音」 ホームヘルパー
藤本 由貴 水前寺有老人ホーム 介護福祉士
石井 弘子 水前寺有老人ホーム 准看護師

よろしくお願います

平成28年6月1日付にて、人事異動が発令されました。昇格及び配置転換辞令をご報告いたします。

■昇格■

氏名	新所属/役職	旧所属/役職
吉澤 裕美子	看護部長	看護部副看護部長兼教育研修推進室長
佐藤 典子	看護部副看護部長 兼 外来部長	看護部外来師長
塚本 潤	事務部総務課長	情報管理室係長
問端 圭	事務部医事課長	(平成28年5月16日付採用)
森 淳子	健康管理部主任	健康管理部管理栄養士
高松 恵美	看護部外来主任	看護部外来看護師
高栢 良子	事務部総務課主任	事務部総務課職員
浦野 泰衣	事務部経理課主任	事務部経理課職員
雄野 智子	薬剤部主任	薬剤薬剤師

■役職変更■

氏名	新所属/役職	旧所属/役職
大森 千賀子	看護部参与	看護部長
芹澤 弘道	事務部総務課係長	事務部環境管理課係長

■配置転換辞令■

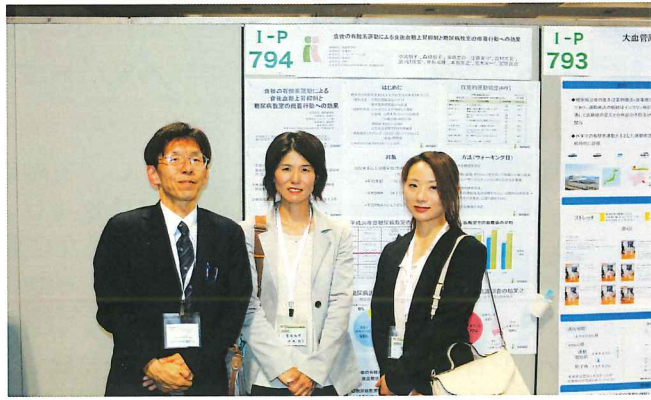
氏名	新所属/役職	旧所属/役職
平 真理子	水前寺高齢者複合施設看護師(出向)	看護部一病棟看護師
井手 明美	看護部一病棟看護師	居宅介護支援事業所さくなん介護支援
森川 万里	健康管理部事務員	看護部一病棟クラーク

■リハビリテーション部内配置転換辞令■

氏名	職種	新所属/役職	旧所属/役職
清崎 太浩	理学療法士	通所リハビリテーション科	理学療法科

「第59回日本糖尿病学会年次学術集会」に参加して

菊南病院糖尿病診療チーム 健康運動指導士 中嶋朋子



5月19日～21日の3

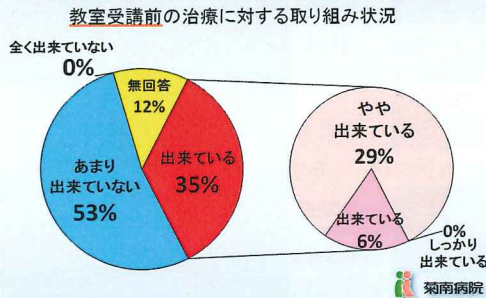
日間、京都で開催された「第59回日本糖尿病学会年次学術集会」に吉村診療部長、江藤薬剤師と3名で参加してきました。今回は、各ブースに分かれ掲示したポスター前で3分スピーチの発表でした。内容は、「食後の有酸素運動による食後血糖上昇抑制と糖尿病教室の療養行動への効果」です。この内容は、H

26年度に実施した当院糖尿病教室にて調査した結果をまとめたものです。過去に院内研究発表にて末藤保健師が発表し、続いて昨年11月に福岡で開催された九州地方会にて濱崎理学療法士が発表したものを加筆訂正し、今回ポスター発表ではありますが、全国大会の場で報告させていただきますました。

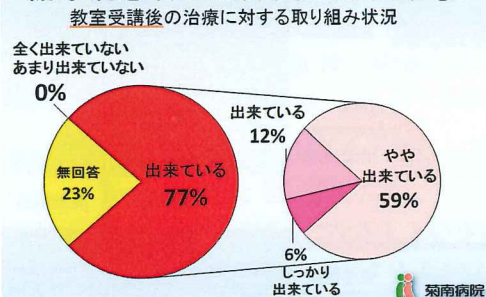
今回の研究で、「講座のみ」の食後血糖と、「ウォーキング講座」後の食後血糖の上昇について「食後の有酸素運動は血糖上昇抑制に有効」で、糖尿病患者様がその効果を実感出来たため今後の運動療法への意識が向上することが期待できたこと、毎回終了時実施したアンケート

トにおいて、「糖尿病教室参加と併せることで食事療法、運動療法、薬物療法の必要性をより理解でき、患者自身の療養行動の強化に有用と考えられること」を報告しました。

糖尿病患者の意識調査の結果①



糖尿病患者の意識調査の結果②



糖尿病教室のお知らせ

当院糖尿病教室は、毎年9月～12月にかけて開催しており、今年で6年目を迎えます。開始前後に血糖値を測定し、「講話1」「ブルーサークルメニューに準じた病院食」「講話2」「グループワーク」を毎回の流れとし1クール4回実施しています。うち必ず1回は、近隣の妙泉寺公園までウォーキング講座を設け、屋外活動を通じて日常生活での運動介入のきっかけにしたいと考えています。今年も9月より4回シリーズで開催予定です。参加ご希望の方は受付にお尋ね下さい。

	日時	費用	内容①	内容②
1回目	9月3日(土)	600円	糖尿病最近の話題	日常生活の注意点(災害時の備えについて)
	12:00~14:00		医師	看護師
2回目	10月1日(土)	600円	運動について	薬について
	12:00~14:00		理学療法士	薬剤師
3回目	11月5日(土)	600円	ウォーキング(妙泉寺公園)	お弁当
	12:00~14:00		理学療法士	管理栄養士
4回目	12月3日(土)	600円	検査について	食事について
	12:00~14:00		臨床検査技師	管理栄養士

「糖尿病診療チーム」も6年目を迎えました。今後は左記の日程で「糖尿病教室」を開催いたします。現在治療中の方だけでなく、ご家族様の参加もできます。毎回2つの講話内容と、糖尿病の体験食を召し上がっていただきます。また、「血糖値検査」を実施します。食後の血糖はどれくらいか、測ってみませんか？

参加ご希望の方は、お気軽にお尋ねください。

申込 菊南病院
「糖尿病教室担当」 外来
096-344-1711(代表)



電子カルテを導入しました



当院では、平成28年6月1日(水)から電子カルテシステムの運用を開始しました。

電子カルテ導入のメリットとして、カルテや検査結果等の必要な情報がどこからでも瞬時に参照可能となること、システム間の連携により転記や再入力が必要となること、バーコードでの患者様の確認や各種チェック機能によりミス防止できること等が挙げられます。これらのメリットを活かし、患者様の待ち時間の短縮や、医療の安全性及び質の向上に繋げることを目的としています。

平成27年2月に検討委員会を立ち上げ、電子カルテ導入により実現したい目標を明確化し、システム化する範囲を協議しました。さらに、他院の見学やシステムデモを行

い、当院に適したシステムの選定を行いました。システム決定後は、病院全体のプロジェクトとして、全職員が一丸となり稼働に向けて準備を進めてまいりました。その甲斐あって、震災も乗り越え、大きな混乱もなく無事稼働することができました。

今後も、電子カルテシステムの更なる成熟や新たなシステムの導入を検討し、より良い医療サービスの提供に貢献できる病院情報システムの構築を目指します。

最後に、快く見学させていただきました病院様、各システムベンダー、メーカーのご担当者様にはこの場をお借りし改めてお礼申し上げます。



菊南病院 行事食献立

子供の日・母の日



- 赤飯
- ピースごはん
- 豚しゃぶと茄子の長芋サラダ
- たこの柔らか煮
- 里芋の白煮
- 厚焼き卵
- インゲンと蕨のソテー
- じゅんさいの酢の物
- トマト
- 清汁 (こいのぼり生麩)
- 柏餅



父の日

- トマトごはん
- ローストビーフ
- アボカドと小海老のジュレサラダ
- フレッシュコーンの冷靜スープ
- スイカとココナッツのクーパ

Working Woman

～働く女性へ Q&A～



看護部長

吉澤 裕美子

新しく看護部長に就任された 吉澤看護部長にお話を伺いました。

Q 今後の看護部の展望をお聞かせください。

A 職員が定着するには、働きやすい職場であること。人間関係が良いこと。仕事へのやりがいがあること。がとても重要だと思います。お互いを思いやりながら、成長して欲しいし、もっともっと自分からも率直な意見を出し合える職場にしていけたら、と思います。また、認知症ケア、緩和ケアなど専門性のあるケアに対してスタッフの適性や意欲も引き出していけたらと思っています。

Q 現在のお仕事の内容を教えてください。

A 連携室と共に、入院患者さまの調整を行ったり、院内や院外の教育研修の調整を行ったりしています。大森前看護部長が「看護部長は、よろずや」だといっておりましたが、私はまだまだです。

今後、看護部としての目標や方針を明確にし、新人教育なども教育委員やプリセプター、師長たちと協力体制をとり進めていきたいと思っています。

Q 仕事で「気を付けている事」はありますか？

A スタッフには、『褥瘡を絶対に作らないぞ』という気持ちで患者さまのケアに当たって欲しいと思っています。褥瘡のリスクの高い患者さまが多いため、『できても仕方がない』という気持ちでケアを行うと工夫も生まれません。オムツかぶれや擦過傷から褥瘡になることもあるので、悪化しないようみんなが声を出して、協力しながら丁寧なケアをしていきたいと思っています。また、遠慮せずに、自分の方から手伝って、と言える雰囲気、自分の方から手伝いましょう。と言える職場でありたいと思います。ですから、慣れないスタッフにはどんだん声を掛けていきたいと思っています。『忙しいからしょうがない』という組織風土だけは作りたくないです。特に、排泄行為というものは一番人に見られたくない行為だということを忘れず、常に羞恥心にも気を配って欲しいと思いますし、それは意識のない方や認知症の方でも同じです。

Q 菊南病院で働いて良かったこと・思い出は？

A 私は、子供が3人いますが、三男が気管支喘息だったため、発作時に吸入器をかかえて保育園や小学校に行っ

たり、夜間、地域医療センターの外來で点滴をしました。けれども、周囲の温かい配慮も有り仕事を続けて来られました。子供は、一人ぐらい医療職について欲しいと思っていたら、この子だけが医療職に就きました。院内保育園はありませんが、工作中、詰所の奥でひとり本を見せていたこともありました・・・。

Q 「こだわり」を教えてください（仕事でもプライベートでも）

A 花が好きで、ハーブは色々植えています。料理やお茶に使ったり、また頭が痛い時などはアロマオイルで、気分転換しています。つい最近NHKで「幸福の秘訣教えます」というプレゼンテーションがありました。ハーバード大学の研究者で、「いい人間関係が幸福のひけつである。いい人間関係には柔軟性が必要。」と言っていました。「いい人間関係ができる人に共通する特徴は柔軟性。困難を乗り越えるために必要な要素。」だと言っていました。その言葉で思い出したのが母でした。自宅で父を看取った翌年に弟が急死したときはどうなるかと思いましたが、いつも人に対して感謝の気持ちと「なるようになる」という言葉を口にして乗り切りました。柔軟性がないと人を恨んでしまったかもしれません。私も母を見習って、ストレスに負けないよう柔軟性を身につけ、年をとったらかわいいスプーンお婆さんみたいになりたいです・・・。

菊南病院の看板が完成しました



飛田バイパスから当院への目印に

いのち

室原会 会長 室原 亥十二

(84号の続き)

う。さてここで、一飛びして現在の超高齢者社会の老人が、咽頭・気道・喉頭それに鼻腔の十字路の交差点の反射機能の低下による気道閉塞で、死に至る事故が医療・看護者の悩みになっている。

かつては呼吸器系と食道系が別々であった時代があったらしい。ここで「個体発生」は「系統発生」と言ったドイツの学者がいた。生物の頂点に立つヒトの未来がいつまで続くかこれは予想が出来ないが、可塑性もある。生物としては都合の悪い1ルートを又2ルートに変えることもあるかもしれない。

そうなれば誤嚥下はなくなる。誤嚥はエージングによるさけられない衰え又は変化であると考えたと彼等の責任は軽くなる。勿論、事故のないよう日常努力はしている。

それについてもシベリアの北東部のウランゲリ島で約3700年前迄生息していたマンモスの化石記録より最も近縁と思われるアジア象とのクローニングで絶滅種を復活させようとしている生物学者がいる。結論はゲノム編集するには長期間での破損もひどく、出来ないうちに変わっている。マンモスもどきが今人間社会を闊歩したとする

と、憲法まで作りかえる必要が生じる。天才的科学家はよい意味での道楽者

まるでヒト騙しの行動です。その後、長い長い歴史を経てヒトは「音声言語」を取得した。それは約10万年前の現生人類ホモサピエンスが形成されたと同じ時代である。約350万年前に2足歩行が始まり、その頃より解剖学的に咽頭・気道入口・喉頭変化が起き、声道が変わったと言われている。エチオピアを出て大陸を移動している間に、それぞれのグループ間ではコミュニケーションをとるための「音声言語」が少なくとも前記の通り10万年前にとれるようになった。グループごとに、又地域が隔絶されているタスマニア又はアポリニジ族でも言語として文法があり、「言語学」として現在誰でも学べることは実に驚くべきことです。しかも、比較的短い時間で成立している。文字も「原文字」は紀元前7世紀前期新石器時代に出現している。この頃より大脳機能は加速度をつけて発達した。これがヒトが現在の生物界を支配した最大の能力だと思

ヒトでは、その中枢が大脳辺縁系より発達して大脳四葉領域に分かれ、現在の高次脳機能へと進化し、同じ「いのち」が「意識」として認知される様になったと思う。

旧制高校時代に高揚するとよく「デカンシヨ デカンシヨ」と半年は暮らす。あとの半年は寝て暮らす」と内容は分からないうまま皆で乱舞したものです。(デカルト)(カント)(シヨペンハウエル)。

「我思うゆえに我あり」はあまりにも有名です。デカルトは17世紀の人ですが、3億年前のゴキブリと「いのち」の存在感と同じ。ゴキブリは情動として受け入れ、デカルトはそれを意識した。即ち「思った」のです。ただ、ゴキブリは逃げるより外に表現出来なかった。面白いことに、中には死んだふりをする甲虫もいる。私の子供の頃ギツクリ虫と言っていた捕まえると裏返しになり、暫く動かない。そのうちピンと跳ね上がりこそこそと逃げる。

生物は戦う。勝ち残る為に。勝つか負けるか。負けたら死ぬ。絶滅する。その前に降参するか共存するか。逃げるか。隠れるかです。水中・地中・空中へ。ヒトも例外ではない。今はドンパチだけではない。テロもある。手段としては原爆、バイオテロ(細菌・ウイルス・遺伝子・AI等々)

キツチンで見かけたのは石炭紀(3億年前)に出現したゴキブリだけでは

ない。クモの子を散らすとも言われている8本足のクモは、ゴキブリより遡ること1億年前の、古代シリリア紀に出現している。生物の爆発的なカンブリア紀より1億5000万年後であるが、逃げる行動が少し賢い。いずれにして、彼等が危機を察知して最初とする行動は逃避です。38億年の生物の歴史の中でこの様な原始的な恐怖・不安時といった行動の発端となる感覚を「情動」と言っている。「いのち」を「意識」して逃避したか分からない。それで「情動」と表記するのか。霊長類の

生物は戦う。勝ち残る為に。勝つか負けるか。負けたら死ぬ。絶滅する。その前に降参するか共存するか。逃げるか。隠れるかです。水中・地中・空中へ。ヒトも例外ではない。今はドンパチだけではない。テロもある。手段としては原爆、バイオテロ(細菌・ウイルス・遺伝子・AI等々)

キツチンで見かけたのは石炭紀(3億年前)に出現したゴキブリだけでは

ない。クモの子を散らすとも言われている8本足のクモは、ゴキブリより遡ること1億年前の、古代シリリア紀に出現している。生物の爆発的なカンブリア紀より1億5000万年後であるが、逃げる行動が少し賢い。いずれにして、彼等が危機を察知して最初とする行動は逃避です。38億年の生物の歴史の中でこの様な原始的な恐怖・不安時といった行動の発端となる感覚を「情動」と言っている。「いのち」を「意識」して逃避したか分からない。それで「情動」と表記するのか。霊長類の

生物は戦う。勝ち残る為に。勝つか負けるか。負けたら死ぬ。絶滅する。その前に降参するか共存するか。逃げるか。隠れるかです。水中・地中・空中へ。ヒトも例外ではない。今はドンパチだけではない。テロもある。手段としては原爆、バイオテロ(細菌・ウイルス・遺伝子・AI等々)

キツチンで見かけたのは石炭紀(3億年前)に出現したゴキブリだけでは

だと思ふ。特異な「才能」と「金」と「ヒマ」を潤沢に使い、世間の目を気にしないので一途にやりたいことをやり遂げる。これも能力の1つではある。中世期迄は科学者は王侯貴族の出身者でした。石部金吉ではダメです。

最近巨大ウイルスが話題になっていますが、今ウイルスも生物と言われている。

ヒトは20万年前にヒトに分かれて、それぞれのグループにより言葉・文字を生み、コミュニティ・都市国家・民族国家をまとめ、哲学・宗教・科学・工業・経済等を開発・普及、今の世界が成立し、頭初に書いた様に生物なるが故に戦いに明け暮れている。

生物の「形態」の爆発的多様性が5億年前のカンブリア紀であったのに例えると現代は「知」のカンブリア紀とも言えなくもない。異なるのはそのスピード化・拡散化・グローバル化で地球は狭くなり、情報は一瞬にしてネットで人類の発生の地アフリカに届く。又宇宙へ。

古典的ニュートンの力学より量子力学の統一理論を追及、さらに「いのち」を含めた大宇宙の包括的統一理論を求めて「天才」の道楽は続く。

ヒトはどこへ行く。

(2016年7月1日)

参考

- ・「科学は未来をひらく」 村上陽一郎
- ・「私たちはどこから来てどこへ行くのか」 森達也
- ・「いきているとはどういうことか」 池田清彦
- ・「38億年生物進化の旅」 池田清彦
- ・「形態の生命誌」 長沼毅
- ・「人体失敗の進化史」 遠藤壽紀
- ・「人類はどこから来てどこへ行くのか」 エドワード・ロ・ウィルソン
- ・「マンモスのつくりかた」 ベス・シャピロ
- ・「巨大ウイルスと第4のドメイン」 武村政春
- ・「科学の発見」 スティーブ・ワインバーグ(ノーベル物理学賞)
- ・「ワンダフルライフ」 スティーヴン・ジェイ・グールド
- ・「生命と地球の歴史」 丸山茂徳 他
- ・「神は妄想である」 リチャード・ドウキンス
- ・「ホーキング、宇宙を語る」 スティーヴンW.ホーキング
- ・「人類が絶滅する6つのシナリオ」 フレッド・グテル
- その他インターネットより孫引き

第175回 きくなん生き生き健康教室(野外活動)開催いたしました。

平成28年3月23日(水)第175回きくなん生き生き健康教室(野外活動)を開催いたしました。テーマは「みんなで花見に出かけよう!!」で、今回は熊本を飛び出し、福岡の柳川方面へ出かけました。



柳川といえば、日本を代表する詩人・北原白秋の故郷で、「柳川川下り」や「鰻のセイロ蒸し」、また3月のこの時期は特に「柳川さげもん」が有名です。最近では「琴バウアー」が話題の琴奨菊の出身地としても有名です。

この日も12回すべての参加者に皆勤賞を送りました。今回は「柳川のおひなまつり」ということで「さげもん」をイメージしたストラップを11名の方にプレゼントしました。とてもかわいいキーホルダーに皆さんうらやましそうでした。次回はぜひ皆様も皆勤賞をねらってみませんか(皆勤賞は毎回変わります)。



うりぼう



～ 施設の楽しい行事を紹介します。～

水前寺高齢者複合施設
小規模多機能 いとし
グループホーム 鈴の音
水前寺有料老人ホーム



職員さん・患者さん・利用者さんのための リフレッシュケア企画



Dr. TelevitaでおなじみのKKTくまもと県民テレビさん企画で、癒しのコンサートが開催されました。「平成28年 熊本地震」～被災されたみなさんへの支えとして～と題し、コンサートを行いました。素敵な歌声や演奏などを通じて、心の癒しと沢山の元気を頂きました!!

アーティスト紹介



エレクトーンコンサート
茶屋 桃子さん



♪ チャリティーコンサート アイカさんと MICAさん



グループホームきくなん便り

お花見

今年も武蔵塚公園にお花見に行きました。多数のご家族の参加もあり、美味しいうどんも食べました。



母の日

手作りのキーホルダーをプレゼントしました。とても喜んで下さいました!



御食事会

予定していた阿蘇への小旅行。地震のため中止になりましたが、江津湖のほとりにあるお洒落なイタリアンカフェでちょっとリッチなランチを頂く事が出来ました。



父の日

母の日同様、手作りキーホルダーをプレゼントしました。プレゼントよりビール（ノンアルコール）に夢中の男性陣。手作リクレープも喜んで頂きました。



ドクター古庄のサイクリング紀行

菊南病院 副院長
古庄 伸行

26. 夏の訪れを告げる俵山のユウスゲ



「ユウスゲ」は「キスゲ」とも呼ばれ、本州から九州に分布するユリ科の多年草。熊本では阿蘇の外輪山に自生するものが有名で、毎年、夏の訪れと共に地元局のニュースでもユウスゲの開花が紹介される。その軽く振り返った6枚の黄色い花びらが緑の草原の中で初夏の風に揺れて優雅に見えるが、そんな花が一晩だけ咲いて翌日にはしぼんでしまう「一夜花」だと思つと、切なくもある。

毎年、梅雨明けの時期になると、そんなユウスゲが多く咲いている俵山峠へ自転車で上るのを年中行事のひとつにしてきた。夏場のサイクリングなら暑さを避けて、朝早く出かけて正午頃には帰ってくるのが常であるが、ユウスゲは午後4時過ぎ頃から咲き始めるので、暑さが厳しくなる午後2時頃に出発し、午後4時頃～5時頃まで花を鑑賞し、暗くなる前に家に帰り着くようにしている。しかし残念ながら、今年は地震の影響で俵山には登れそうにない。被害の大きかった西原村から俵山トンネルに向かう県道28号線は地震による道路の亀裂やうねりが強く、特にX字型の橋脚が印象的な桑鶴大橋では激しい段差が出来ており、未だに復旧の目

途が立っていない。その先の俵山トンネルも一部崩落が起きているし、旧道の峠道もがけ崩れで通行が出来ない。

俵山のユウスゲを諦めて、西原村から南へ上って吉無田高原の疎らなユウスゲで我慢するか、それとも、走れる道を探して何とか俵山峠へ上り、一面のユウスゲを堪能するか、大いに迷っているところである。



—昨年の俵山の峠道で

DO
SPORTS

スポーツと私 ヒマラヤの未踏峰へ：1



副院長 循環器科
赤星 隆一郎

神奈川県高体連ヒンズークシュ登山隊は総勢36名、平均年齢40才4か月の中年登山隊です。経験、登攀技術、体力も様々で、4つの隊に分れて5000メートル級の未踏峰を目指しました。1989年7月22日成田を出発。23日パキスタンの経済の中心地、古都ラワルピンディーをチャーターバスで出発。25日に古来からの交通の要衝であるギルギット着、26日よりジープ10台に乗り換え崖っぷちの悪路を走りました。27日よりロバ約30頭に荷物を積みキャラバンを開始、29日に全体の集合地であるボイタ(約3600m)に到着しました。この日の夜は満天の星で、鮮明かつ無数の星の密集に感動しました。人工衛星と流星の多さにも驚かされました。7月31日より4隊に分かれ本格的な登山を開始しました。私はA隊に配属されました。8月1日ザミチーリー谷の約4200mの氷河の上にベースキャンプを設営。この頃よりほぼ毎日降雪が続きました。当初の目標としていた5531m峰は偵察の結果、頂上付近は露出した大きな岩峰で本格的な岩登りの装備なしでは無理と判断し近くの別のピークを目指すこととなりました。降雪が続く8月5日の風雪による停滞があったものの、我々A隊は4日に5380m、6日に5280mの未踏峰2座の登頂に成功しました。2座ともに独立峰で周囲の眺めは素晴らしく登頂の感動とともに忘れられない思い出となりました。頂上の雪をフィルムケースに入れて記念に持ち帰りました。我々のベースキャンプから少し離れたところに急峻な雪壁の真っ白なピークがあり、8月7日アタックすることになりました。ところがこの日C隊より高山病の患者が3名出て状態が悪いのでベースキャンプに戻るようとの無線連絡が入りました。私は一人でA隊を離れて氷河を下りその日の夕方ベースキャンプに到着しました。



1989年8月6日、2日前の未踏峰(5380m)に続き2つ目の未踏峰(5280m)を目指す。雪庇の横を慎重に上る。雪庇の数百メートル下は氷河。

◆外来担当医当番表◆

平成28年4月～

菊南病院

		月	火	水	木	金	土	
午前	1診	室原	赤星	室原	梅田	赤星	室原	
	診療 (9時～12時)	2診	古庄	加古	古庄	加古	吉村	
	受付 (9時～11時)	3診	—	整形外科 前田	吉村	—	坂本	梅田(第2・4) 前田(第1・3・5)
午後	1診	梅田 (予約)	梅田 (予約)	室原 (予約)	室原 (予約)	梅田 (予約)		
	診療・受付 (13時～17時)	2診	中島	中島	古庄	吉村	禁煙外来 古庄(予約)	休診
	3診	—	—	神経内科 守屋(隔週)	—	—	禁煙外来 赤星(予約)	

●休診日：日曜、祝日、年末年始等 ※但し、急患の場合はこの限りではありません。

—医師情報—

坂本	呼吸器内科 ※要予約
守屋	神経内科 ※隔週(事前にご確認下さい)

★都合により受付終了時間が早まる場合がございます。ご了承くださいませ★

平成26年1月現在

室原内科・小児科

		月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二	室原亥十二	☆動脈硬化検査 (第1・第3火曜日)	室原亥十二 高血圧外来 (梅田Dr)	休診	室原亥十二 腹部工コ一検査 (第2・第4)	室原亥十二 糖尿病外来 (後藤Dr)
	午後	室原亥十二	室原亥十二	☆動脈硬化検査 (第1・第3火曜日)	室原亥十二 喘息外来 (藤井Dr)	休診	室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr)

☆午前8:30～12:00 午後1:30～3:00

●診察日・時間：月～土曜日(木曜日を除く) 午前8:30～午後6:00

●休診日・時間：木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始等

編集後記

編集長 室原 鈴子

梅雨も明けていよいよ夏本番。「ふれあい84号」では熊本地震直後で、地震ストーリー11につきた感がありません。あれから4ヶ月過ぎたのに、まだトラウマ状態の「叫び」が浮かんで来ます。早くこの思いを消え去りたいものです。先日、東京都知事は公私混同疑惑で辞職。又、外国ではイギリスのEU離脱、哀れな難民の姿など、重苦しいニュースばかり。

85号ふれあい、「第59回日本糖尿病学会」の記事は、糖尿持病の私には是非教室に参加して、健康維持の勉強を、と思いましたが、吉村Drをはじめ3名の方々、遠路貴重なご報告感謝いたします。

又、電子カルテ導入でより良い医療サービスの提供に貢献できる様、システム概念図など熟読してフルに活躍して下さい！変わらぬ心のもった栄養部の行事食。心から感謝。Working Womanの記事では、吉澤裕美子新看護部長の就任おめでとうございます。Q&Aを読みながら、長男の幼時の喘息、自家中毒にと苦しい子育てを思い出しました。リーダーとして適格なバランスのとれた立派なご人格に感心いたしました。87歳まで生きて、人間関係は最も重要と痛感しています。深い哲学をお持ちで、柔軟性をいかし、病院のシンボルになって下さい！

野球オンチの私ですが、先日目にしたフリーズで、イチローの「僕の今の達成は常に人に笑われてきた歴史、この悔しさがバネになった」との名言に感動しました。

「活き活き健康教室」も森田先生はじめスタッフ一同のため努力で、口コミで参加者が増え、盛況です。

好評の古庄Drのサイクリング紀行「今回は、森進一のユウスケの歌を思い出し、夕方にふさわしい可憐な花に会いたくまりました。

はかない花の話とは対称に、赤星Drの「ヒマラヤの未踏峰へ」のダイナミックな記事。先生のパワー全開に圧倒されます。「グループホームきくなんだより」のスナップ、ご笑覧下さい。

未曾有の大地震の爪跡がまだまだ重くのかかります。がんばれ！熊本。負けんばい熊本！と叫びたいくなります。